

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 3月26日

事業所名 キッズスペースぶらーぼ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	2	1	1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	0		賃貸物件のため環境には限界があるが引き続き出来る限りお子さん一人ひとりにあった環境を提供していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	1	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2	0	できるだけ全職員で周知し、意見の出し合っている。	不十分であるので、今後多くのスタッフが参画できるよう取り組んでいきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	0		今回初めて実施している。真摯に受け止め改善していきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	0		今回初めて実施している。真摯に受け止め改善していきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	0		第三者の外部評価は実施していない。今後検討していきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	0		個人の意識によるところが大きいため、研修計画等を作成し取り組んでいきたい。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	0		独自のツールを使用している。推奨されたツールの使用はしていない。今後研修等で知識を深め、導入していきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	0		今後も具体的な支援計画を策定し、保護者様により分かりやすく説明をしていきたい。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	0		これからもスタッフ間で進捗を確認しながら支援を行なっていきたい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	0	個別の空間を利用し、子ども達のニーズに合わせて遊びを提供している。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	0		今後より多くのスタッフが参画できるよう調整を図っていききたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					現在該当なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					現在該当なし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	3	1	今後就学に向けての移行支援は実施予定あり。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	0		まだまだ十分な連携が取れていないので、今後は積極的に働き掛けていききたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	0	1		これから体操やサッカー、また地域向けの活動など、障がいのないお子様との交流の機会を積極的に作っていききたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	1	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	0		不十分であるため、保護者様に寄り添い共通理解に努めていきたい。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	0	0	法人全体では行なっている。広めていけるよう、重要性などを含め今後お知らせしていきたい。	次年度以降も、ペアレントプログラム等、家族向け研修会を実施したい。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1	0			
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	0		不十分であるため、保護者様に寄り添い、適切な助言に努めていきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	4		保護者会自体がないので、参加しやすい保護者様同士の勉強会や交流の機会を作っていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	2	2	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2	0		その都度お知らせを発行したり、ウェブサイトを定期的に更新するなど心掛けていますが、より積極的な情報発信をしていきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	0	近隣の高齢者施設、障がい者施設と定期的に交流している。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	0	マニュアル等は策定し、職員間で周知、訓練は行なっている。	各種マニュアルは整備されているが、保護者様にまでは周知していない。どのような機会に周知するか今後検討していきたい。スタッフ間でもミーティング等で改めて共有していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	0		勤務により参画していないスタッフもいるので、今後継続し実施していきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	2	0	服薬、てんかん発作の確認は済。	予防接種は未確認であったので、今後確認していきたい。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	0	食物アレルギーのあるお子さんについては、医師からの情報をもとに対応。	今後必要な場合には医師の指示に基づき対応していきたい。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	0		今後も事業があった際には、インシデントレポートで共有し、再発防止に努めていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	0		不十分であるため、外部研修への参加やミーティング等で振り返りを行なっていきたい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	0	3	身体拘束について話し合う場を持つことはある。	必要な場合には左記の流れに沿って対応していきたい。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 3月26日

事業所名 キッズスペースぶらーぼ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	0		引き続き出来る限りお子さん一人ひとりにあった環境を提供していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	3	1	0		適切な人員配置だけでなく、専門性の担保を心掛けていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	0	3		賃貸物件のため環境には限界があるが引き続き出来る限りお子さん一人ひとりにあった環境を提供していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	0	その都度話し合いをし改善している。周知もしている。	不十分であるので、今後多くのスタッフが参画できるよう取り組んでいきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2	0		実施している。真摯に受け止め改善していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	0		実施している。真摯に受け止め改善していきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	0		第三者の外部評価は実施していない。今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	0		個人の意識によるところが大きいため、研修計画等を作成し取り組んでいきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	関係機関や担当者会議等を開き、アセスやニーズ等を分析している。	不十分であるので、今後知識を深め、レベルアップしていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	0		独自のツールを使用している。推奨されたツールの使用はしていない。今後研修等で知識を深め、導入していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	0		担当スタッフのみで行なう場合もあるので、チームでの立案を心掛けていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	0	屋内外を使用し活動の工夫をしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2	0		不十分であるため、今後支援の見直しをしていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	0	体操、サッカーでは、個別でのスケジュールを取り入れている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0	毎日行なっている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	0	毎日行なっている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	2	0	毎日行なっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	2	0		不十分であるため、振り返りの意味も含めて今後ミーティング等で行なっていきたい。

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	2	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	0	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	0	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	0		十分な連携が取れていないので、今後は積極的に働き掛けていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1	0		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1	0	管理者が参加。各事業所も連絡会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1	0	必ずフィードバックを行っている。	不十分であるため、保護者様に寄り添い共通理解に努めていきたい。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	0	0	今年度ペアレントプログラムを開催している。	次年度以降も、ペアレントプログラム等、家族向け研修会を実施したい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	0		不十分であるため、保護者様に寄り添い、適切な助言に努めていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	0	3		保護者会自体がないので、参加しやすい保護者様同士の勉強会や交流の機会を作りたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	0	苦情があった際に、管理者に速やかに報告し適切な対応を心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	0		その都度お知らせを発行したり、ウェブサイトを定期的に更新するなど心掛けているが、より積極的な情報発信をしていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	4	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	0	0	地域の子ども達を巻き込んでのイベントを開催している。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	0		各種マニュアルは整備されているが、保護様にまでは周知していない。どのような機会に周知するか今後検討していきたい。スタッフ間でもミーティング等で改めて共有していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	0	避難訓練を年2回行なっている。	勤務により参画していないスタッフもいるので、今後継続し実施していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	2	0		不十分であるため、外部研修への参加やミーティング等で振り返りを行なっていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している					該当なし。今後必要な場合には左記の流れに沿って対応していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2	1		必要な場合には医師の指示に基づき対応していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	0		今後も事案があった際には、インシデントレポートで共有し、再発防止に努めていきたい。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 3月26日

事業所名 キッズクラブからころ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	0		
	2	職員の配置数は適切である	6	1	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3	1		賃貸物件のため環境には限界があるが引き続き出来る限りお子さん一人ひとりにあった環境を提供していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	0		不十分であるので、今後多くのスタッフが参画できるよう取り組んでいきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0		実施している。真摯に受け止め改善していきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	0		実施している。真摯に受け止め改善していきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	0		第三者の外部評価は実施していない。今後検討していきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0		個人の意識によるところが大きい。研修計画等を作成し取り組んでいきたい。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	0		独自のツールを使用している。推奨されたツールの使用はしていない。今後研修等で知識を深め、導入していきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1	0		今後も具体的な支援計画を策定し、保護者様により分かりやすく説明をしていきたい。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	1	0		これからもスタッフ間で進捗を確認しながら支援を行なっていきたい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	1	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0		今後より多くのスタッフが参画できるよう調整を図っていきたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					現在該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					現在該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	0	訪問支援と情報共有している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	0		十分な連携が取れていないので、今後は積極的に働き掛けていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4	1		これから体操やサッカー、また地域向けの活動など、障がいのないお子様との交流の機会を積極的に作っていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	1	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0		不十分であるため、保護者様に寄り添い共通理解に努めていきたい。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	0	0	今年度開催したペアレントプログラムを活かしていきたい。	次年度以降も、ペアレントプログラム等、家族向け研修会を実施したい。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0		不十分であるため、保護者様に寄り添い、適切な助言に努めていきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	2		保護者会自体がないが、参加しやすい保護者様同士の勉強会や交流の機会を作っていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	1	不定期ではあるが、子ども達の写真、活動の様子を発信している。	その都度お知らせを発行したり、ウェブサイトを定期的に更新するなど心掛けているが、より積極的な情報発信をしていきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	0		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	2	0	避難訓練は、半年に一度実施している。ミーティング等で感染症対策を共有した。	各種マニュアルは整備されているが、保護者様にまでは周知していない。どのような機会に周知するか今後検討していきたい。スタッフ間でもミーティング等で改めて共有していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0		勤務により参画していないスタッフもいるので、今後継続し実施していきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	1	0	服薬、てんかん発作の確認は済。	予防接種は未確認であったので、今後確認していきたい。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3	2		必要な場合には医師の指示に基づき対応していきたい。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	1	何かあれば、すぐにスタッフ間で顔合わせして共有している。	今後も事業があった際には、インシデントレポートで共有し、再発防止に努めていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	0		不十分であるため、外部研修への参加やミーティング等で振り返りを行なっていきたい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2	1		必要な場合には左記の流れに沿って対応していきたい。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 3月26日

事業所名 キッズクラブからころ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	0		引き続き出来る限りお子さん一人ひとりにあった環境を提供していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	6	1	0		適切な人員配置だけでなく、専門性の担保を心掛けていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	5	1		賃貸物件のため環境には限界があるが引き続き出来る限りお子さん一人ひとりにあった環境を提供していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	0		不十分であるので、今後多くのスタッフが参画できるよう取り組んでいきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0		実施している。真摯に受け止め改善していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	0		実施している。真摯に受け止め改善していきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	0		第三者の外部評価は実施していない。今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0		個人の意識によるところが大きいため、研修計画等を作成し取り組んでいきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0		不十分であるので、今後知識を深め、レベルアップしていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	0	評価する項目を分けることで適切に使いやすい。	独自のツールを使用している。推奨されたツールの使用はしていない。今後研修等で知識を深め、導入していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	0		担当スタッフのみで行なう場合もあるので、チームでの立案を心掛けていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	0	外出や調理する機会など平日にできない活動を行なっている。	不十分であるため、今後支援の見直しをしていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	確認、継続事項を設けることで次回の支援につなげている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2	0		不十分であるため、振り返りの意味も含めて今後ミーティング等で行なっていきたい。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1	0	少しずつ情報共有が行えるようになってきている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	0		十分な連携が取れていないので、今後は積極的に働き掛けていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3	0		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	保護者と顔を合わせて話す機会を積極的に作っているのは事業所の強みだと感じる。	不十分であるため、保護者様に寄り添い共通理解に努めていきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	0	0		次年度以降も、ペアレントプログラム等、家族向け研修会を実施したい。	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0		不十分であるため、保護者様に寄り添い、適切な助言に努めていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	0		保護者会自体がないので、参加しやすい保護者様同士の勉強会や交流の機会を作りたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	4	0		その都度お知らせを発行したり、ウェブサイトを定期的に更新するなど心掛けているが、より積極的な情報発信をしていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	0		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2	0	各種マニュアルは整備されているが、保護者様にまでは周知していない。どのような機会に周知するか今後検討していきたい。スタッフ間でもミーティング等で改めて共有していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	勤務により参画していないスタッフもいるので、今後継続し実施していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	不十分であるため、外部研修への参加やミーティング等で振り返りを行なっていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				該当なし。今後必要な場合には左記の流れに沿って対応していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3	2	必要な場合には医師の指示に基づき対応していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2	1	今後も事案があった際には、インシデントレポートで共有し、再発防止に努めていきたい。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 3月26日

事業所名 放課後子どもクラブぴこ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	0		引き続き出来る限りお子さん一人ひとりにあった環境を提供していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	5	1	0		適切な人員配置だけでなく、専門性の担保を心掛けていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	3		賃貸物件のため環境には限界があるが引き続き出来る限りお子さん一人ひとりにあった環境を提供していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0		不十分であるので、今後多くのスタッフが参画できるよう取り組んでいきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2	0		実施している。真摯に受け止め改善していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0		実施している。真摯に受け止め改善していきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	1		第三者の外部評価は実施していない。今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0		不十分であるので、今後知識を深め、レベルアップしていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	1		独自のツールを使用している。推奨されたツールの使用はしていない。今後研修等で知識を深め、導入していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	0		担当スタッフのみで行なう場合もあるので、チームでの立案を心掛けていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	0		不十分であるため、今後も活動の見直しをしていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	0		不十分であるため、今後支援の見直しをしていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		個別支援計画作成時に、心掛けて取り組みたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	0		非常勤スタッフが参加できない場合があるので、共有できるよう心掛けたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	5	0		支援終了後は時間の確保が難しいため、翌日のミーティングで必ず行うようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2	0		今後記録の質にもこだわり、徹底していきたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	0	スタッフ全員で検討会議を行ない、計画に反映させている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	2	1		不十分であるため、振り返りの意味も含めて今後ミーティング等で行なっていきたい。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	0	今後より多くのスタッフが参画できるよう調整を図ってきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	0	ある程度情報共有できているが、不十分な場面もあるので、今後も連携を図ってきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	1	十分な連携が取れていないので、今後は積極的に働き掛けていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	0	不十分ではあるが、必要に応じて情報の共有を行なっている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	1	十分な連携が取れていないので、今後は積極的に働き掛けていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	0	0	これからも体操やサッカー、また地域向けの活動など、障がいのないお子様との交流の機会を積極的に作っていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	0	事業所としては参画しているが、今後より多くのスタッフが取り組めるよう調整を図ってきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	0	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	0	今年度ペアレントプログラムを実施している。次年度以降もペアレントプログラム等、家族向け研修会を実施したい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	3	0	担当するスタッフ以外もしっかり理解をして説明ができるようにしていきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	0	不十分であるため、保護者様に寄り添い、適切な助言に努めていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	0	保護者会自体がないので、参加しやすい保護者様同士の勉強会や交流の機会を作ってきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3	0	その都度お知らせを発行したり、ウェブサイトを定期的に更新するなど心掛けているが、より積極的な情報発信をしていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	スタッフ間での共通認識を深め、細心の注意を払ってきたい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1	0	近隣の障がい者施設などと定期的に交流の機会を持っている。これからも事業所主催のイベントには地域の方々を巻き込んでいきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2	0		各種マニュアルは整備されているが、保護様にまでは周知していない。どのような機会に周知するか今後検討していきたい。スタッフ間でもミーティング等で改めて共有していきたい。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	0		不十分であるため、外部研修への参加やミーティング等で振り返りを行なっていきたい。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している						該当なし。今後必要な場合には左記の流れに沿って対応していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	4	1			必要な場合には医師の指示に基づき対応していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3	0	ミーティング等でその都度確認合っている。		今後も事案があった際には、インシデントレポートで共有し、再発防止に努めていきたい。